

# 大磯海水浴場は開設130年目を

## 迎えます



大磯海水浴場は、現代につながるリゾート海水浴の発祥と言われるほど、歴史ある海水浴場です。130年も前に、どのように大磯に海水浴場が開設されたのでしょうか。

Q. 大磯海水浴場はいつ、誰が、どこに開いたの？

A. 明治18年(1885年)、松本順(良順)によって、現在の照ヶ崎海岸に開設されました。

### 松本順



天保3年(1832年)に生まれ、幼名を順之助、後に良順、順と改名しています。新撰組の近藤勇の胃腸炎の治療をし、土方歳三の骨折の手術をした医者です。また、江戸幕府14代将軍家茂の最期の脈をとり、15代将軍慶喜の侍医でもありました。初代陸軍軍医総監となり、退官後、海水浴場好適地の選定をすすめ、明治40年(1907年)、大磯の邸宅で満74歳の生涯を閉じました。

Q. 松本順が海水浴に興味をもったのは、なぜ？

A. 江戸末期に長崎でオランダ医学を学んでいた松本は、一冊の書『蛮驚(ばんきょう)児童性論』に出会います。この書には、海水の内服及び海水浴の主な効用、諸症状における各海水浴法とそれに伴う効用などについて書かれています。この頃、欧州においては、海水浴の有効性が唱えられ、広く行われていました。これを読み、海水浴に興味を持った松本は、医学的見地から日本における海水浴場の必要性を確信したのです。

Q. 松本順は、なぜ、大磯に海水浴場を開いたの？

A. 明治18年(1885年)に陸軍軍医総監を退官後、いよいよ海水浴場地の選定をすすめます。東京近郊地である小田原を候補に挙げましたが、小田原の人々は松本の話に耳を貸さず、開設できませんでした。その帰途に大磯に宿泊した松本がこの地を調査すると、これまで松本が実験によって得た海水浴場の条件にすべてあてはまりました。宿駅制度の廃止によって経済的に打撃を受けた大磯の今

後の状況を危惧した町民の協力を得て、明治18年、現在の照ヶ崎海岸に大磯海水浴場を開設したのです。開設にこぎつけた松本順は、大磯海水浴場の宣伝に力を注ぎます。



▲明治中期～末期の大磯海水浴場

Q. どのような人々が大磯にやってきたの？

A. 大磯海水浴場には、明治20年(1887年)、東海道線横浜・国府津間開通により、大磯駅が設けられたことで、京浜地方から多くの人が訪れました。その当時は、現代のようにリゾートとしての海水浴

### 「名大磯湯場の対面」

大磯に寒湯治にやってきた曾我十郎・五郎兄弟ならぬ佐賀十太郎・五郎吉兄弟と新橋芸者お虎たちが、大磯観光から宿泊する禰龍館へ戻ってきたところから始まるこの演目は、避暑地としてだけでなく避暑地としての大磯を宣伝しています。

### 日本一の海水浴場に!!

明治41年に日本新聞社が実施した避暑地百選の全国投票で、大磯が一位に輝きました。大磯駅前にある「海内第一避暑地」の碑は、これを記念して建てられたものです。医療行為として広まった海水浴は、時代の流れとともにその目的は医療から娯楽へと変化し、夏の代表的なレジャーへと成長しました。

Q. 松本順はどのように海水浴場を宣伝したの？

A. 開設の翌年、コレラの流行で大磯海水浴場は入出が激減しますが、明治20年東海道線の開通により、再び賑わいを取り戻しつつありました。そこで松本は一層、海水浴場の宣伝に力をいれます。



▲大磯禰龍館之図(明治24年)(歌舞伎役者は尾上菊五郎)



▲海内第一避暑地の碑

産業観光課 内線248  
郷土資料館 ☎(61)4700